

テキストのフォント置換AI

Illustrator ドキュメント上でテキストのフォントを置換します。

■インストール

- Adobe Illustrator [バージョン]/プリセット/ja_JP/スクリプト
にこのスクリプトを入れて、Illustrator を再起動してください。

■使い方

- Illustrator 上にてドキュメントを開いた状態で、「ファイルメニュー／スクリプト」から「テキストのフォント置換AI」を選択します。
- 起動時にあらわれるダイアログで各種設定をします（下記）。
- ダイアログのOKボタンを押すと処理がはじまります。

■仕様

- AppleScript／JavaScript で Adobe Illustrator を操作します。
- 起動時にあらわれるダイアログの設定は下記の通りです。
 - ・「書体を変更する文字列を入力してください」…フォントを変更したい検索文字列を入力
 - ・フォント選択…検索文字列に対して変更したいフォントをドロップダウンで選択
 - ドキュメントにて選択されたオブジェクトが処理対象となります（複数選択可）。
 - 選択オブジェクトが「グループ」「テキストフレーム」「テキスト」であれば処理を行います。
 - ・テキストフレームまたはテキストを選択している場合は、選択箇所の検索文字列がフォント置換対象となります。
 - ・グループを選択している場合は、グループ内テキストフレームの検索文字列がフォント置換対象となります。
 - ドキュメントにて何も選択していない場合はすべてのテキストが処理対象となります。
 - テキスト選択以外で処理した場合は、フォントを変更したテキストを選択します。離れた箇所でも同時に選択します。
 - AppleScript 版／JavaScript 版ともにまったく同じ動作・仕様ですが、
AppleScript 版は macOS のみ、JavaScript 版はmacOS/Windowsに対応しています。
また、AppleScript 版はダイアログで設定した検索文字列とフォントを記憶しますが、JavaScript 版では起動ごとに設定が必要となります。

■今後の課題

- 正規表現でテキスト検索を可能にします。

■動作環境

- 推奨動作環境…OS X Mavericks (10.9.5)（AppleScript 版）／Windows（JavaScript 版）
- 対象アプリケーション…Illustrator CS6以降

■履歴

- 2016年5月24日…最初のリリース。
- 2016年5月27日…選択オブジェクトがテキストフレームである場合に、フレームの選択を解除する仕様を追加。
- 2018年5月8日…OS X Mavericks (10.9.5) 用に再コンパイル。

■利用規約・免責事項

- スクリプトは無償配布ですが、著作権はタクトシステム株式会社（以下「弊社」といいます）に帰属いたします。
- スクリプトの二次配布はご遠慮ください。入手は最新版の配布個所として弊社WEBサイトからのダウンロードを推奨します。
- スクリプトの使用による損害や弊害についても弊社は一切の不具合・不利益・責任は負わないものとします。
- スクリプトは日本語環境のオペレーティング・システムで使用してください。
- スクリプトのバージョンアップ義務は負わないものとします。
- スクリプトの公開は予告なく変更または中止することがあります。
- スクリプトを雑誌、書籍などで紹介・転載する場合は必ず弊社までご連絡ください。

■制作環境

Mac mini (Mid 2010)
OS X Mavericks (10.9.5)
AppleScript エディタ 2.6.1
ExtendScript Toolkit 3.8.0.12

Adobe、Adobe Illustratorは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

タクトシステム株式会社
Copyright © 2018 TACT SYSTEM Co. Ltd. All Rights Reserved.
URL: <https://www.tactsystem.co.jp>
mailto: tactcmb2@tactsystem.co.jp